学校番号	３２２

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次 （普通科）
使用教科書	高校生の美術２」　（日本文教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術の創作活動を通じて、完成を高めるとともに、様々な表現能力を伸ばし、美術を愛する気持ちを養うことを狙いとする。
・感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったこと、目的や機能から考える「映像メディア表現」と「鑑賞」の分野について学習する。
・一人ひとり思いや見方、感じ方が違うので、表現方法の特性や形態・色彩・技法などについて着目して、自分なりの感じ方や表現を深める。また、違った見方を「鑑賞」で共有すると、さらに美術への興味関心が広がり、知識や能力も深まる。３２２

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに，意図に応じて 表現方法を創意工夫し，個性豊かで創造的に表すことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
造形的なよさや美しさ，表現の意図と創造的な工夫，美術の働きなどについて考 え，主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり，自己の価値観を高めて美術や 美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
）主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み，生涯にわたり美術を愛好する心情を 育むとともに，感性と美意識を高め，美術文化に親しみ，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わう。多様な表現方法や、美術文化に関心を持つ。 主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組む。	感性や想像力を働かせ、感じ取ったこと、考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を決めて創造的な表現の構想を練る。 創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ意図に応じて表現方法を工夫する。	美術作品などの表現の工夫や、芸術文化を理解する。 美術の良さや、美しさを創造的に味わう。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	オリエンテーション	・教科書を鑑賞し、多様な表現方法について学ぶ。	c:教科書から、現代の芸術の文化を学べたか、授業でしっかり取り組んでいるか			授業の様子
	筆触分割で学内風景画を描こう	・パネル張りについて学び、自分のパネルを作ってみる ・教科書を使い、筆触分割について学ぶ ・校内をスケッチし、パネルに描いていく ・補色を下地に塗り、点を重ねて風景の色を表現していく ・感想シートを書く	a:筆触分割について理解し、色を分けて点描できているか。 b:混色した絵具で着色できたか。自分で色を考え表現できたか c:自分の作品や友人の作品を鑑賞し、振り返れているか。	授業作品	授業作品	感想文 制作の様子
2学期	張り子で幸運を招く置物を作ろう	・張り子の成り立ちや、招き猫の由来について学ぶ ・自分が考えた幸運の置物をテーマにワークシートを完成させる ・張り子の型を粘土で作る ・張り子の型の上に、新聞紙や和紙で成形していく。 ・粘土を取り出し着色していく。 ・感想シートを書く	a:着色や成形は、アイディアを表現するためにきちんと作られているか。 b:アイディアは面白いものとなっているか アイディアを、作品へと昇華できているか c:自分の作品や友人の作品を鑑賞し、振り返れているか。	授業作品	授業作品 アイディアスケッチ	感想文 友人の作品感想レポート 制作の様子

3学期	シルクスクリーンでオリジナルキャラクターをつくる。	・教科書や参考作品や資料から抽象表現を学ぶ。 ・感情を表す線や色を考え、アイディアシートに描きこんでいく。 ・砂絵シートに下描きをしていく。 ・色砂でのグラデーション表現や混色方法を学び、砂を乗せ砂絵を制作していく。 ・台紙に着色し、砂絵を台紙に貼る。 ・感想シートを書く。	a:砂絵の表現方法を理解し、色や表現方法を追求して表現している。 b:感情を表現する線や色を理解し、表現できているか。 多彩な色を使うことが出来ているか。 c:自分の作品や友人の作品を鑑賞し、振り返れているか。	授業作品	授業作品 アイディアスケッチ	感想文 友人の作品感想レポート 制作の様子

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度